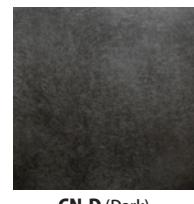




無彩色の 深遠なる表現力。



CN-L (Light)



CN-D (Dark)

CRAFT N. と ZCFC の違いについて



ZCFC (グレー)



CN-L (Light)

従来の仕上である ZCFC と、そこからさらに金属本来の表情にこだわった新仕上の CRAFT N. には、二つの異なる特長があります。

□ 研磨技術による魅せ方

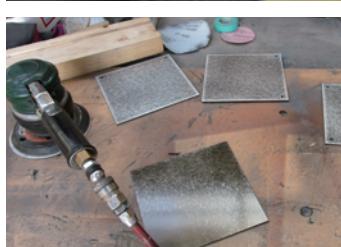
ZCFC は職人の手によって丁寧に描き出された研磨模様による表情が魅力です。それに対し、CRAFT N. は複雑な研磨を行うことによって、奥行きと深みを出した金属本来の表情が魅力です。

□ 色調

ZCFC は研磨だけではなくカラーをしっかりと入れることによって表情を作り出すため、カラーバリエーションが特長です。それに対し、CRAFT N. は金属の表情を消さないように、グレートーンによって表情を作り出します。研磨模様とグレートーンが調和してできる水墨画のような味わい深い模様が特長です。

例えば左の写真のように、ZCFC (グレー) はどこも均一にグレーのカラーが入っていますが、CRAFT N. (Light) は研磨の濃淡だけでグレートーンを生み出しており、同じ色調でもまったく別の表情になっています。

CRAFT N. と溶融亜鉛メッキリン酸処理の違いについて



CRAFT N. に類似した仕上として、溶融亜鉛メッキリン酸処理による仕上があげられます。溶融亜鉛メッキリン酸処理は高温で溶かした亜鉛の中に鋼材を浸することで、金属の表面をメッキで覆ったうえでリン酸処理をかける仕上です。

どちらの仕上も似たような用途で使われることが多いですが、CRAFT N. にしかない魅力があります。

□ 鋼材の厚み

溶融亜鉛メッキリン酸処理はドブづけが高温での処理になり、薄い鋼材がその熱に耐えきれず変形してしまう場合があります。そのため、厚さ 1.6mm の鋼材は基本扱うことが出来ません。それに対し、CRAFT N. は 1.6mm の鋼材でも使用することが可能です。

□ 意匠性

溶融亜鉛メッキリン酸処理はスパンギル（冷却する過程で亜鉛が結晶となった時にできる模様）が現れる時があります。これを意匠として好む人も多くいますが、この模様は必ず出る訳ではありません。

それに対し、CRAFT N. は模様を職人の手作業によって描き出しています。そのため、一つ一つの表情に個性を刻むことが出来ます。



株式会社フロント



□ 本社

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-13-1 ノークビル 03-3360-3391 FAX.03-3362-6363

TEL.

□ NAGOMI 事業部

〒106-0032 東京都港区六本木 2-1-11 03-5797-7595 FAX.03-5797-7596

TEL.

□ 大阪営業所

〒555-0022 大阪府大阪市西淀川区柏里 1-16-19 植松ビル 2F TEL.06-6476-4122 FAX.06-6475-8440

<http://www.arc-front.co.jp> e-mail info@arc-front.co.jp

FCN - 202009